



川口けいすけの **グリーンズ川越** 67 since2003

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介
〒 350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 政晴会議員控え室
TEL 070-6998-3687 FAX 049-227-3810 E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com

2003年から自ら印刷機・紙折り機を回し発行してきたこの紙面ですが、印刷機の寿命、作業の効率化を考え、65号から印刷・紙折りを業者をお願いすることにし、前回66号からは紙面のリニューアルを行いました。この間、業者の選定、作成方法の変更等で発行に時間を要してしまいましたが、見やすくなったとの声も多数いただきました。今後も、皆様からの声を大切に発行してまいりますのでよろしくお願い致します。

川口の一般質問 利用しやすい公共施設をめざして より (一部を掲載)

現状では最大限能力が活かされていない公共施設が多くあることから、今後の公共施設マネジメントを考える上でも改善の必要があることを訴え、運営方法も含め問題点を例示的に指摘しました。

1. 公民館の和室利用率 3割に届かず *詳しくは報告会にて

和室は膝が痛いから・・・

公民館等の部屋のうち、会議室・講座室等に比べ、和室の利用率は低く、和室利用者の約8割は定期利用者が占めているというのが実情です。

「和室が嫌いですか？」と聞くと、高齢者を中心に、「むしろ好きだ」という答えが返ってきます。ところが、「膝が痛くて、長く畳に座ってられない」という声も同時にいただきます。現在公民館の利用者の多くは60歳以上の方ということもありますが、「椅子の方が楽、使いやすい」との声は高齢者以外にも多くあります。

和室用の椅子の導入を提言

個人で買って一脚3千円程度で購入でき、和室のある全施設に20脚ずつ揃えたとしても150万円程度です。この提言に対し市は検討したいと答えました。

今ある施設の有効活用!



2. 各課でバラバラな砂場の衛生管理を指摘

実は、市内には、大きく分けて3種類の砂場があります。都市公園（一般的な公園）の砂場、児童遊園の砂場（神社の境内にあるような小さめの遊び場）、学校の砂場の3つです。都市公園は、公園整備課が、年2回二酸化塩素水溶液による消毒及び月2回の清掃。児童遊園は日常管理している自治会がその一環としてごみがあれば除去。学校は年1回の細菌検査、環境衛生基準に基づき対応。とのことでした。なぜ、同じ砂場で管理方法が異なるのか、市の見解を求めました。

砂場の現状は野良猫及び一部の放し飼い猫の糞やガラス片等も散見されます。私の指摘を受け、市は今後は児童遊園でも子どもの安全を第一に考え、衛生的な管理を検討したいと答えました。

〈参考：野良猫数は一説に約300万頭とも、飼い猫約1000万頭の内、約24%が放し飼い（環境省）〉